

## 京都府 セーフコミュニティ ニュース

～地域力による安心・安全なまちづくりを目指して～  
第 6 号(平成21年12月7日発行)

京都府府民生活部  
安心・安全まちづくり推進課  
TEL075-414-4367 FAX075-414-4255  
E-mail:anshinmachi@pref.kyoto.lg.jp

### 12月11日～12月31日は「年末の交通事故防止府民運動」です

今年も残すところ20日あまりとなり、何かと気ぜわしい時期を迎えましたが、こんな時期こそ、一層交通安全に気を付けなければいけません。

京都府交通対策協議会(会長：京都府知事)では、今年も12月11日から31日まで、「年末の交通事故防止府民運動」を実施します。

「年の瀬も あったかマナーで 事故はなし」をスローガンに、5つの運動重点を定め、市町村や警察、関係機関の協力のもと、府内各地で啓発活動等が展開されます。

〈運動重点〉

- 高齢者の交通事故防止
- 夜間の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶
- シートベルト・チャイルドシートの正しい着用・使用の徹底
- 自転車の安全な利用の促進

お酒を飲むことが予測される食事会や宴会に出席するときは、公共交通機関を利用するか、ハンドルキーパーを定めるなどして、「飲酒運転は、絶対にしない、させない」ようにしましょう。

また、アルコールが体内から抜けるまでには、自分が思っているよりも時間がかかります。



#### 〈参 考〉アルコールの影響の進み方

(平成21年版 交通安全白書から)

体重約60kgの人が飲んだ場合、酔いがさめるまでの時間は、ビール中瓶1本又は日本酒1号4時間が目安です。

個人の体質により異なりますが、日本酒3合を飲んだ場合、アルコールの影響がなくなるまでにおよそ半日かかります。

「一眠りしたから大丈夫」は禁物です。アルコールの影響について正しく理解し、適切な運転を心がけましょう。

高齢者の交通死亡事故も、引き続き多い状況にあります(11月末現在:交通事故死者数84人中39人(46.4%))。加齢に伴う身体機能の変化を理解し、高齢歩行者や高齢自転車利用者に対する思いやり運転に努めましょう。

### 京都市内24ロータリークラブと協働で「割れ窓理論」実践を実施

11月22日(日)、京都市内24ロータリークラブの主催、京都府・京都市の共催、(社)日本塗装工業会 京都府支部・京都府塗装工業協同組合の協賛、京都割れ窓理論実践委員会の協力により、「あなたの街に根付かせよう、防犯意識 “割れ窓理論” 実践」をテーマに、落書き消しや張り紙はがし、ゴミ拾い、放置自転車への啓発活動を実施しました。

当日は、朝8時に京都駅前広場に集まり、京都市内ロータリークラブ会員の皆さんを中心に、知事や京都市長も参加のもと、総勢337人のボランティアの方が京都市内5箇所に分かれて作業を実施。地域の安心・安全に向け、ボランティアの皆さんとともに汗を流しました。



これから年末年始にかけて、お酒を飲む機会が多くなると思いますが、飲酒時には、自動車の運転だけでなく、自転車の運転も禁止されており(道路交通法第65条第1項)、違反の場合は、最大5年以下の懲役又は100万円以下の罰金が課せられます(同法第117条の2第1号)。

お酒を飲むと、とっさの判断力が低下し、事故を起こす危険性が非常に高くなります。飲酒時には、自転車も含め、絶対に運転しないようにしましょう。